

第2回運動・スポーツ中の安全確保対策に関する検討会

学校等の管理下における運動・スポーツ事故の傾向

日本スポーツ振興センター
災害共済給付事業部
齊木 一明

災害共済給付制度の概要について

・目的

学校等の管理下で児童生徒等の災害(負傷・疾病、障害、死亡)に対して災害共済給付を行う。

・契約主体

日本スポーツ振興センター(JSC)と学校設置者との間で締結される「災害共済給付契約」

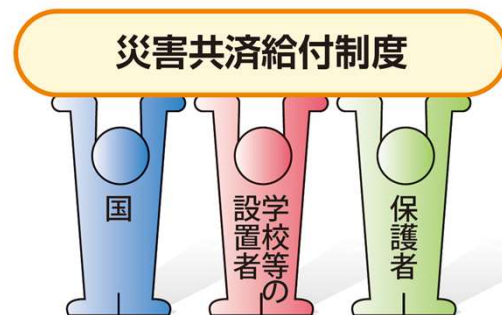
・給付内容

- 医療費
- 障害見舞金
- 死亡見舞金

・加入対象(学校種別)

義務教育諸学校、高等学校、高等専修学校、高等専門学校、幼稚園、幼保連携型認定こども園、保育所等

三者による互助共済制度

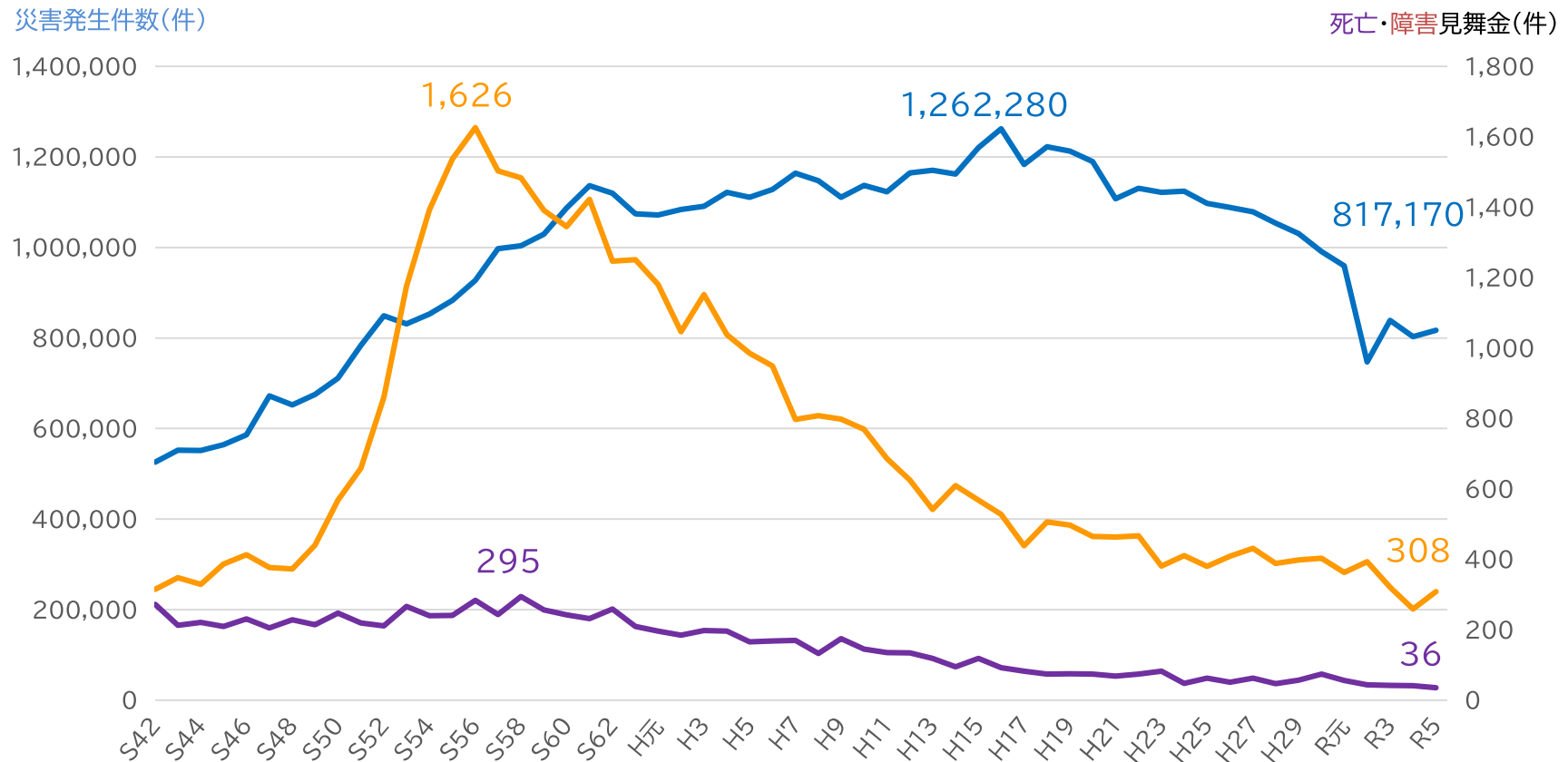


令和5年度実績

加入者数	約1,575万人 (加入率約95%)
災害発生件数 給付金額	約 82万件 約144億円

災害共済給付業務 ～災害発生件数～

- 死亡・障害見舞金給付件数は昭和50年代をピークに減少傾向
- 災害発生件数は平成16年度をピークに減少傾向



災害の傾向(小学校) 令和5年度 災害発生件数:283,474件

主な場合(いつ)	運動種目別(区分)	運動種目別(詳細)	
休憩時間46.6%(132,145件) 各教科等32.5%(92,140件) →うち体育(保健体育)(74,780件) 特別活動 8.5%(24,171件)	球技33.6%(25,774件) 器械体操・新体操32.4%(24,838件) 陸上競技16.2%(12,418件)	種目	跳箱運動 19.8%
			バスケットボール 11.2%
			マット運動 8.0%
			サッカー・フットサル 5.1%
			ドッジボール 4.5%
			障害走(ハードル) 3.8%
			準備・整理運動 3.7%
			鉄棒運動 3.6%
			短距離走 3.1%
			走り高跳び 3.1%
			縄跳び 2.8%
			水泳 2.2%
			走り幅跳び 1.6%
			持久走・長距離走 1.6%
			バレーボール 1.5%

※「その他」は除く

■小学校

【場合別:いつ】

「休憩時間(132,145件)」に最も多く発生し、全体の約半数を占めている。

【場所別:どこで】

「運動場・校庭」が最も多く、次いで「体育館・屋内運動場」、「教室」が多い。

【体育用具・遊具別:何で】

「鉄棒」が最も多く、次いで「雲てい」、「ぶらんこ」が多い。

【部位別:どこの部位を】

「手・手指部」が最も多く、次いで「足関節」、「眼部」、「頭部」が多い。

【運動種目別(内訳)】 ※「各教科等・体育(保健体育)」、「特別活動」、「課外指導・体育的部活動」、「水泳指導」

「跳箱(15,174件)」が他の種目より格段に多い。次いで「バスケットボール」、「マット運動」、「サッカー・フットサル」での発生が多い。

【時間帯別】

「13-14時」、「10-11時」に多く、次いで、「11-12時」、「14-15時」の発生が多い。

災害の傾向(中学校)

令和5年度 災害発生件数: 251,897件

主な場合(いつ)	運動種目別(区分)
課外指導45.3%(114,225件) →うち体育的部活動(112,734件) 各教科等31.3%(78,786件) →うち体育(保健体育)(73,678件) 休憩時間11.1%(28,055件)	球技74.8%(138,706件) 陸上競技9.4%(17,363件) 器械体操・新体操5.4%(10,102件)

球技(詳細)

バスケットボール	29.2%
サッカー・フットサル	12.4%
バレーボール	11.9%
野球(含軟式)	5.1%
テニス(含ソフトテニス)	3.8%
ソフトボール	3.1%
ハンドボール	3.0%
バドミントン	2.4%
ドッジボール	1.4%
卓球	1.0%

※その他は除く

■中学校

【場合別:いつ】

「課外指導(114,225件)」中に最も多く発生している。
 ほとんどは「体育的部活動(112,734件)」によるものである。

【場所別:どこで】

「体育館・屋内運動場」、「運動場・校庭」に多く発生している。

【部位別:どの部位を】

「手・手指部」が最も多く、次いで「足関節」、「膝部」、「眼部」、「足・足指部」が多くなっている。

【運動種目別(内訳)】※「各教科等・体育(保健体育)」、「特別活動」、「課外指導・体育的部活動」、「水泳指導」

球技中のけがが全体の **7 割以上**を占めている。内訳は「バスケットボール」、「サッカー・フットサル」、「バレーボール」、「野球(含軟式)」の順が多い。

【時間帯別】

「10-11時」、「11-12時」に多く発生している。次いで、「16-17時」、「17-18時」の発生が多い。

災害の傾向(高等学校等) 令和5年度 災害発生件数: 206,651件

主な場合(いつ)	運動種目別(区分)
課外指導54.9%(113,395件) →うち体育的部活動(111,692件) 各教科等24.4%(50,447件) →うち体育(保健体育)(48,121件) 学校行事9.4%(19,420件)	球技83.3%(136,654件) 陸上競技5.3%(8,747件) 準備運動等2.9%(4,836件)

球技(詳細)

球技	バスケットボール	23.1%
	サッカー・フットサル	20.1%
	バレーボール	11.1%
	野球(含軟式)	9.2%
	ハンドボール	4.3%
	ラグビー	3.5%
	バドミントン	3.4%
	テニス(含ソフトテニス)	2.4%
	ソフトボール	2.8%
	ドッジボール	1.6%

※その他は除く

■高等学校等

【場合別:いつ】

「課外指導(113,395件)」中に最も多く発生しており、そのほとんどは「体育的部活動(111,692件)」によるものである。

【場所別:どこで】

「体育館・屋内運動場」、「運動場・校庭」が全体の6割以上。

【部位別:どの部位を】

「足関節」、「手・手指部」の発生が多い。
大項目で見ると「下肢部が全体の4割」を超え、最も多い。

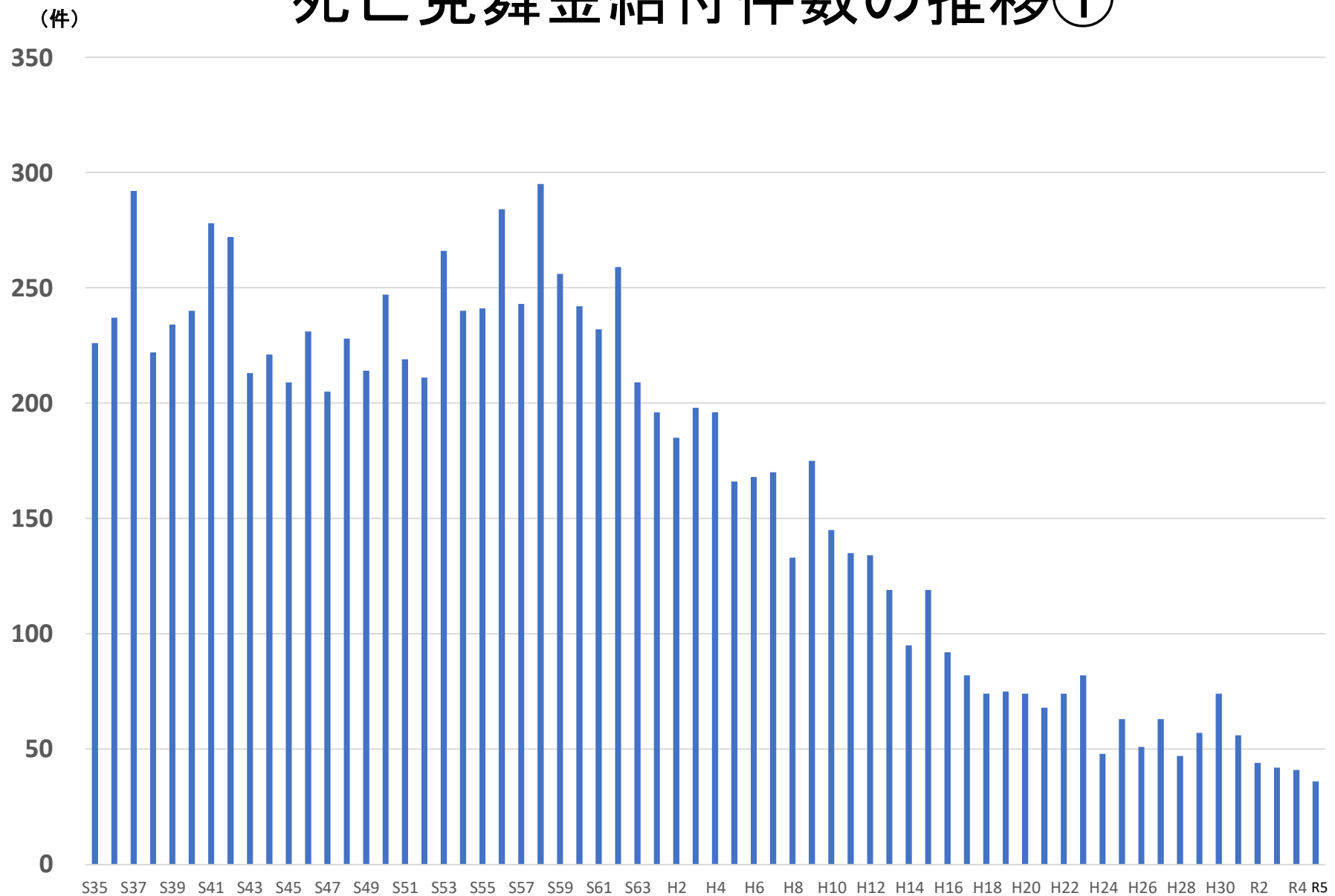
【運動種目別(内訳)】※「各教科等・体育(保健体育)」、「特別活動」、「課外指導・体育的部活動」、「水泳指導」

球技中のけがが全体の8割以上を占めている。内訳は「バスケットボール」、「サッカー・フットサル」、「バレーボール」、「野球(含軟式)」の順で多い。

【時間帯別】

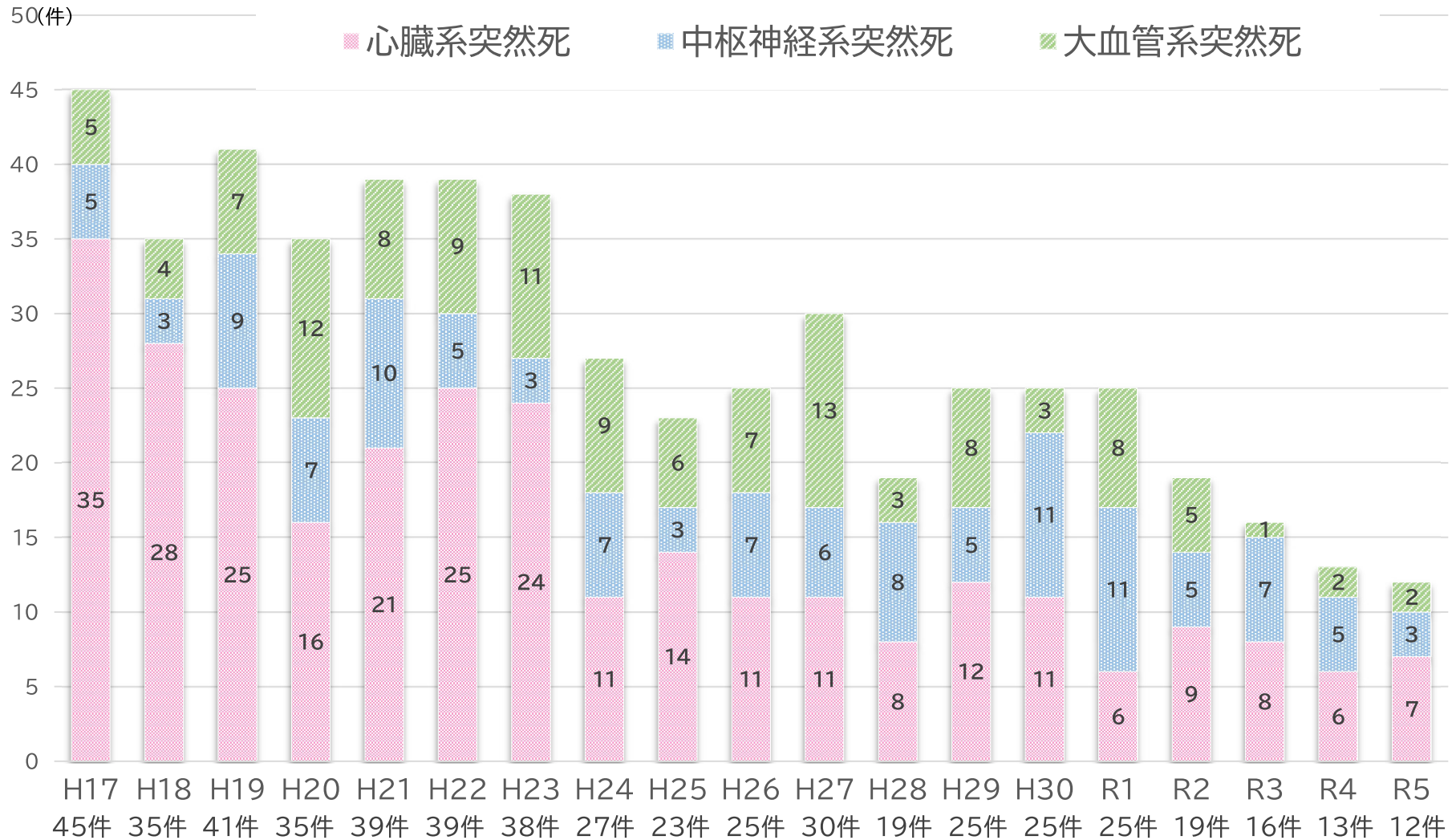
「11-12時」、「10-11時」、次いで「17-18時」の発生が多い。

死亡見舞金給付件数の推移①



死亡見舞金給付件数の推移②【突然死】

図1：平成17年度～令和5年度 突然死の死亡見舞金給付件数(531件)



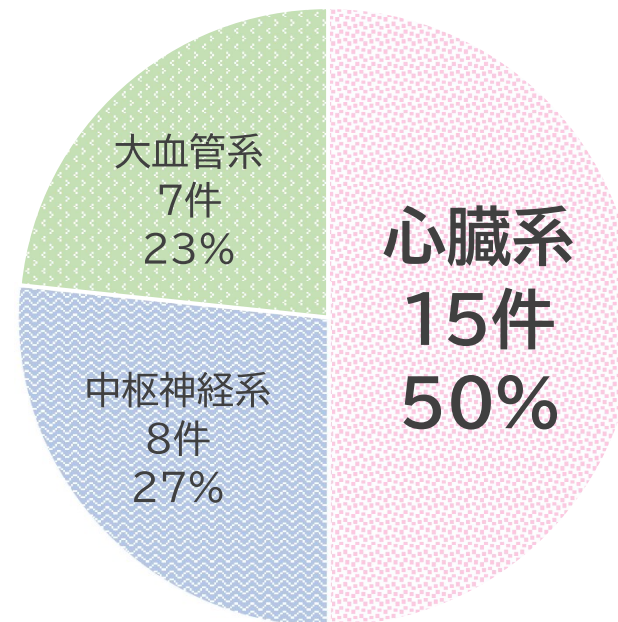
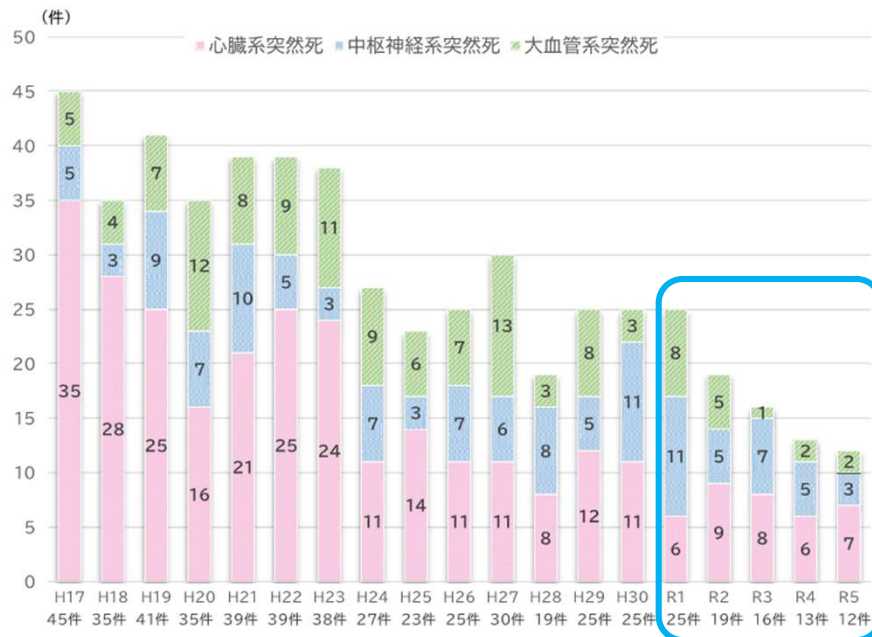
学校等の管理下における突然死

図2: 突然死の死亡見舞金給付件数・割合
(令和元年度～令和5年度)

【抽出条件(場合)】

- ・各教科等(体育(保健体育))
- ・特別活動(体育的クラブ活動)
- ・学校行事(競技大会・球技大会)
- ・課外指導(体育的部活動、水泳指導)

図1: 平成17年度～令和5年度 突然死の死亡見舞金給付件数(531件)



令和元年度～令和5年度

- ・大血管系突然死 18件
 - ・中枢神経系突然死 31件
 - ・心臓系突然死 36件
- 計85件